

中間支援活動助成事業 実績報告

団体名	認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸	代表者名	理事長 中村順子
事業名	<基本事業> 実践型 NPO リーダー養成講座 <企画立案事業> 住民主体の地域支援事業の開発プロジェクト		

<事業実施実績>

年 月 日	<基本事業>	<企画立案事業>
	活動内容	活動内容
2017 年 4～6 月	人材育成プログラムの検討	活動先視察の開拓 新規アテンドクルーのグループ化支援
2017 年 7～9 月	プログラムの決定	新規アテンドグループの活動導入支援
2017 年 10～12 月	募集パンフレットの作成	アテンドクルー研修の実施 (11/15) 外部説明会の実施 (12/14)
2018 年 1～3 月	NPO マネジメント講座の実施 (2/6、3/6、+現場視察) 報告書作成	アテンドクルーのフォローアップ 報告書作成

<効果と成果>

<基本事業>

県内には約 2300 の NPO 法人がありますが、「マネジメント」という概念が十分に浸透しているとは言えません。NPO 支援の現場でも、マネジメントっていったい何なのか、どこから手を付けたらいいのか、という疑問に接することが多々あります。そこで今回実施したのが「実践スキルと視察研修で学ぶ NPO マネジメント講座」です。自団体の強み・弱み・機会・脅威を客観的に認識できる「SWOT 分析」、4 つの視点で組織運営を考える「バランス・スコア・カード」を中心に、着実にビジョンを実現していくためのマネジメントツールを提供しました。また、先進的な活動を行っている NPO への視察研修、ファシリテーションや行政との付き合い方など、実践につながる知識やスキル取得のためのプログラムも加えました。NPO が個々の組織に合ったマネジメント手法を取得し、継続して活動することで地域課題の解決につながるよう、今後もサポートしていきます。

<企画立案事業>

対象者の拡大や財政の圧迫により、年々介護保険内でカバーできる領域は縮小しています。高齢になっても地域で尊厳を持って暮らし続けるためには、公助のみならず共助の仕組みづくりが欠かせません。今回取り組んだ「住民主体の地域支援事業の開発プロジェクト」は、神戸市主催の「生活支援介護予防サポーター養成研修」の修了生の中から希望者グループ化し、「アテンドクルー」と名付け、①アテンドクルーのメンバーに対する研修、②通所型高齢者施設の開拓とマッチング、③地域包括支援センターなどの関係機関との情報交換、を行いました。結果的に 2017 年度は 4 つのグループが立ち上がり、合計 8 グループが通所型施設や高齢者の在宅でサポート活動を行っています。今後もこの活動を質量ともに拡大し、お互いが助け合いながら、住民が主体となった地域支援事業が展開できるよう活動を継続していく予定です。

<収支決算書>

[基本事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
参加費収入	16,500
自己資金	6,119
合 計	522,619

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	講師謝金	60,000	60,000
	視察先謝金	9,000	9,000
	会場費	6,000	6,000
	その他(広報費・活動交通費等)	325,723	325,723
	小 計	400,723	400,723
間接経費(一般管理費)		121,896	121,896
合 計		522,619	522,619

[企画立案事業]

(収入)

項 目	金額 (円)
中間支援活動助成金	500,000
自己資金	1,425
合 計	501,425

(支出)

区分	項 目	金額 (円)	左のうち助成対象 金額 (円)
直接 経 費	講師謝金	20,000	20,000
	会場費	18,900	18,900
	情報連絡会謝金	0	0
	その他(活動交通費・事務消耗品等)	326,571	326,571
	小 計	365,471	365,471
間接経費(一般管理費)		135,954	135,954
合 計		501,425	501,425